

クラスター	炎症・免疫系クラスター			
授業科目名	炎症学(Ⅱ)・実習			
担当者名	責任者	齋藤 康太	分担者	前田 深春
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	実験実習		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的: 炎症によって惹起される線維化疾患を細胞生物学的観点から理解することを目的とする。

授業の到達目標: 線維化疾患を細胞生物学的観点から理解し, 線維化マーカーの発現を実際に定量する。

授業の概要:

1. 線維化疾患の細胞生物学的側面を理解する。
2. 細胞内膜輸送経路の基本について理解する。
3. 細胞内膜輸送経路研究の現状を理解する。
4. 線維化疾患における細胞内膜輸送経路を理解する。
5. 細胞生物学的観点からみた線維化疾患の課題を理解する。
6. 核酸医薬による肝線維化抑制研究の現状について理解する。
7. 肝星細胞培養株化細胞において発現抑制実験を実習する。
8. 肝星細胞培養株化細胞から細胞抽出液の作成を実習する。
9. 肝星細胞培養株化細胞における線維化マーカーの発現を定量する。
10. 線維化疾患における細胞生物学について総括する。

授業計画

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	線維化疾患における細胞生物学序論	齋藤 康太	情報制御学・ 実験治療学 〔講座研究室〕
2	細胞内膜輸送経路の概論	齋藤 康太	
3	細胞内膜輸送経路の実際	前田 深春	
4	線維化疾患における細胞内膜輸送経路	齋藤 康太	
5	細胞生物学から見た線維化疾患	前田 深春	
6	肝線維化における核酸医薬の展望	齋藤 康太	
7	肝星細胞における標的因子の発現抑制	前田 深春	
8	肝星細胞の細胞抽出液の作成	前田 深春	
9	肝星細胞における発現抑制の効果の検証	齋藤 康太	
10	線維化疾患における細胞生物学の総括	齋藤 康太	

授業形態および成績の評価方法・基準

研究室での実習30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

齋藤 康太, ksaito@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。